

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	224上・下水道の整備		
施策のねらい (めざす姿)	すべての市民が、良質で安定した水が利用します。 下水道(汚水)が整備され、市民が衛生的な環境の中で生活しています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	マネージャー氏名	鎗田 淳

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	今後予測される人口減少や節水の傾向を踏まえ、効率的な下水道事業経営をめざす。	③改革・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成32年度に公営企業会計へ移行の準備を進める。</li> <li>・人口動向に注視し説明会等で市民の理解を得ながら整備を進める。</li> </ul>
②①に基づく取り組み結果	一般会計繰出金の抑制に努めるとともに下水道使用可能区域の拡大を進めた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民及び公共用水域(河川、沼等)	意図(対象をどうするのか)	公共下水道に接続可能な区域が拡大し、良好な生活環境が確保される。
②施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道新設による使用可能区域の拡大</li> <li>・公共下水道施設の適正な維持管理</li> <li>・効率的な下水道事業の経営</li> </ul>			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口動向に注視し市民の理解を得ながら下水道事業を進める。</li> <li>・特定財源である使用料、負担金の確保に努める。</li> </ul>			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	公共下水道(汚水)を整備することによって、使用可能人口が増加(2,200人)した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	上水道普及率	%	76.4	76.5	調査中	上昇
	ii	下水道普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)	%	57.0	57.4	59.0	60.0
	iii	下水道水洗化戸数	戸	24,740	25,111	25,665	25,500
③基本事業成果指標	i	上水道普及率	%	76.4	76.5	調査中	上昇
	ii	下水道普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)	%	57.0	57.4	59.0	60.0
	iii	全県域汚水適性処理化構想見直し数	件	0	0	0	1
	iv	全体計画見直し等の実施数	件	0	0	0	1
	v	下水道管渠清掃延長	m	280	220	2,950	4,070
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	1,813,921	1,998,175	(単位:円)	18,393 円	2,265,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	今後、国の補助金が減少されると予想される中で、財源を確保し、かかる経費について市民の理解を得て事業を進めていく必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	公共下水道整備により、使用可能な人口が増加するなど、成果指標に関しても概ね上昇している。

V 今後の方向性

①成果の方向性	→維持	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	下水道建設に要する経費		
④上記方向性の説明	公営企業会計への移行とともに、特定財源の確保とかかるコストに留意し引き続き下水道使用可能区域拡大のため整備を進める。		